

あなたが選が 魚沼市の未来

魚沼市長選挙立候補予定者 政策・主張比較一覧表



さとう まさかず
佐藤 雅一
69歳・現職

無所属



一般社団法人 魚沼青年会議所
ホームページでは、FMうおめま主催の
市長選挙討論会を動画配信しています。

佐藤 雅一

平成16年の新市建設にあたって掲げた将来像「人と四季がかがやく雪のくに」を目標として、少子高齢化の進行による人口構造の変化に対応できる地域づくりを目指し、市民生活が将来にわたり持続可能で「安心・安全な暮らしの実現」が叶えられる魚沼市

市財政の現状は、県内自治体の中でも良好な団体に区分と言える。将来における持続可能な自治体運営をするには、基準財政需要額と基準財政収入額のバランスをとる事にある。租税を増やす施策の展開が市の将来における施策の実現が可能となる。

地域経済の活性は、生産人口の拡大と地域振興につながり切り離せない関連軸であり、持続可能な魚沼市を造るために不可欠な振興策であります。職業選択の多様性と就労条件の向上に向けた取り組みを行い、学卒、UIターン事業に取り組めます。

育児、教育は魚沼市の次世代を担う人材の育成に不可欠で、時代に合った取り組みが必要である。学習環境の改善とコロナ禍により、リモート授業を可能とする全児童・生徒へのタブレット端末の配布の準備が整ってきた。未満児待機児童を解消します。

魚沼市の医療体制は、小出病院を中心とした市内医療機関の役割が明確になっており、地域の医療は地域で守る体制のもと今後の医師会とともに更なる充実を図ります。また、地域の医療・介護・生活の相談窓口を市内4か所に増設します。

これまで実践してきた、「市民対話集会」は、市民の皆さんの想いが形になるよう、しっかり向き合い、寄り添うことのできる市役所を目指すべく取り組みの一つであります。今後も、市民の声を聴き市民とともに考え、形にしてゆくプロセスを大事に取り組みます。

あなたにとっての理想の魚沼市をお答えください。

魚沼市の財政についての考えをお答えください。

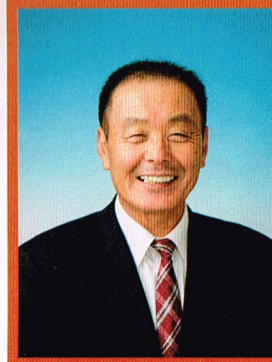
魚沼市の経済、雇用、地域振興に関する考えをお答えください。

魚沼市の育児、教育に関する考えをお答えください。

魚沼市の医療、介護、福祉に関する考えをお答えください。

魚沼市民に向けて自由にお書きください。

内田 幹夫



うちだ みきお
内田 幹夫
65歳・新人

無所属

魚沼人、特に若者や子供たちが魚沼を誇りに思うことができる。全ての人が、豊かな心を持ち、対話と笑顔が広がる。互いに助け合い、手厚い福祉の元で、乳幼児から高齢者まで安心して暮らせる。観光客や関係都市等の交流者、移住者にやさしい。

合併当初の危機的状況は解消されつつあるが、国の状況により交付税等は左右される。ふるさと納税は制度の問題や返礼品のとらえられ方により、安定財源としては考えられない。既存事業の見直しや公共施設の再編等により、スリムな行政を目指す。

削減不可の基礎的予算を確保、国や県の制度事業を利用しインフラ整備等を行う。観光振興と交流人口拡大による経済の活性化を図る。テレワークやワーケーション等の基盤を整備し、新規起業を促す。若者がUIターンできる雇用の場を確保する。

子供たちが将来誇れる魚沼市を構築するため、郷土愛を醸成する。豊かな心と健康な体作りを推進するため、文化やスポーツの振興に取り組む。幼保教育の民営化については、関係者の意見を聞いた中で、子供たちにとって最良の方策を検討する。

医療、介護現場の職員が誇りを持ち働けるよう、待遇を改善する。介護世代が安心して働けるよう介護施設の充実を図る。住民が助け合い、共に生きる社会を目指す。基幹病院、小出病院と個人医の連携を強化、安心して暮らせる社会を構築する。

後世に誇れる魚沼市を未来に残すことは、今の私たち大人の責任です。開かれた市政、対話による市政運営、ガラス張りの市政運営を目指します。魚沼を変えましょう、元気のある、活気に満ちた魚沼を、一緒に創っていきましょう。

魚沼青年会議所では、市民一人ひとりが魚沼の未来を真剣に考え、より良い魚沼市を共に描いていくために、この政策・主張比較一覧表を作成しました。是非皆様自身で魚沼市長を選んでいただきたいと思ひます。

※本比較表は、立候補予定者へ質問事項を提示し、令和二年十一月十五日までに回答が得られた原文を掲載しております。